



**かつしか区民大学**

Autumn Open College

**オータムオープンカレッジ**

区民大学単位認定講座。  
 最先端の学術研究や近年の日本の社会事情などについて、  
 楽しく学べる講演会です。  
**【会場】** 東京理科大学葛飾キャンパス(新宿6-3-1)  
**【対象】** 区内在住・在勤・在学の方 各日600人  
**【費用】** 各日500円  
**【申込方法】** 往復ハガキに「オータムオープンカレッジ」・希  
 望日(両日可)・住所・氏名・年齢・電話番号を書いて、9月  
 24日(火)(必着)まで(多数抽選)。電子申請可。  
**【申し込み・担当課】** 〒124-8555葛飾区役所生涯学習課

**9月29日(日)**

**第1部** 午前10時～11時30分

オータムオープンカレッジ学長  
**藤嶋昭氏** (東京理科大学学長)



講演「研究も教育も感  
 動から～光触媒を例に  
 して～」

**第2部** 午後1時～2時30分

**西山千春氏** (東京理科大学教授)



講演「気になる身近な  
 病気、アレルギーにつ  
 いて～体を守る免疫の  
 仕組みからアレルギー  
 を考える～」

**10月6日(日)**

午後1時30分～5時



オータムオープンカレッジ副学長  
**福岡政行氏** (白鷗大学教授)

講演「政局そして日本外交の行方～アベノミクス・尖閣はど  
 うなる～」  
 吉沢氏・草間氏との対談



**吉沢京子氏**  
 (女優) 詩の朗読



**山下伶氏**  
 (ハーモニカ奏者) ハーモニカ演奏



**草間吉夫氏**  
 (茨城県高萩市長) 講演「ひ  
 とりぼちの私にな  
 った！」

東京理科大学ニュース

**東京理科大学ホームカミングデー  
 (同窓祭)**

**10月27日(日) 午前10時～午後5時  
 入場無料 どなたでも参加できます。**

東京理科大学葛飾キャンパスでは、エンターテインメントや科学にふれるイベントを区や地域と協働して開催します。ふれあいライブステージや記念講演会、科学体験イベントなど楽しい催しが盛りだくさん。ぜひおいでください。  
**【会場】** 東京理科大学葛飾キャンパス(新宿6-3-1)  
**【担当課】** 政策企画課 ☎5654-8108

**介護サービス事業者と災害時における在宅要援護者の安全確保の協定を締結しました**

区は、8月29日に葛飾区介護サービス事業者協議会と災害時における在宅要援護者の安全確保に関する協定を締結しました。これにより、災害時における在宅介護サービス利用者の安全確認などについての協力が整いました。

**【担当課】** 防災課  
 ☎(5654)8223



青木克徳区長(左)と吉田博会長(右)

かつしかの暮らしと文化

156

関東大震災から90年

9月1日は、大正12年(1923)に関東大震災が発生した日です。被った災禍を風化させず、災害への備えを怠らないために、9月1日を「防災の日」と制定し、「防災の日」を含む1週間を「防災週間」としています。

関東大震災は、関東全域に大きな被害を及ぼし、特に都心部は甚大な災禍でした。当時、葛飾区が所属した東京府南葛飾郡の被害は『大正大震災火災誌』によると、本田村で全壊22棟・半壊20棟・被災者272人、南綾瀬村(現在の足立区柳原を含む)で全壊41棟・半壊23棟・被災者348人(大正12年9月20日調

査)で、荒川放水路と中川の間の南綾瀬・本田村地域に被害が集中しました。

また、『大正大震災火災誌』の「罹災者ノ収容」の項を要約すると、「9月1日、隅田川の土手に避難した人々に火が迫ってきたため、本所・浅草・南千住などの各方面から避難者が南葛飾郡内へ押し寄せて、郡内の混乱が甚だしい。そのため、避難民を安全地帯として建設中の荒川放水路の土手の上に誘導するとともに、当時の寺島警察署の一部を開放した。また、各町村長とも協議して、演芸場、映画館など3カ所および寺島・本田・

亀青小学校、府立第7中学校、富豪の別邸、寺院など14カ所なども開放して避難者の収容にあたり、記してあり、地震の揺れによる被害だけでなく、地震後の火災発生による被害の拡大が関東大震災の災禍を大きくしたことに触れています。また、避難してきた人々への避難誘導や援助などが当時から行われていたことが確認できます。

関東大震災の災禍は、地震による揺れやその後の火災だけではなく、地震の被害で



関東大震災で破損した小菅集治監(現東京拘置所)内のレール

聞と通信の機能がまひし、その影響で社会不安をおおるデマが流れるようになりまし。そのデマによって、葛飾区内で死者も出ています。この出来事は、いかに災害時に正確な情報が必要なのかを我々に教えてくれています。

9月1日を、これからの災害に備えるための日として強く意識することが大切であり、発生から90年の歳月を色あせたものにしてはならないのです。(郷土と天文の博物館)

広告 内容については広告主にお問い合わせください。

**第16回 区民のための健康増進講演会**  
**みんなでつくり健康かつしか**  
**～温泉浴で生き生きな身体になろう～**

●日時 平成25年10月19日(土) 午後2時～4時

●会場 葛飾区医師会館 3階  
 葛飾区立石5-15-12 電話(03)3691-8536  
 定員150名 入場無料 ※車でのご来場はご遠慮ください。

■講演 「温泉を科学し健康を考える」  
 「回復期リハビリテーションにおける入浴療法」  
 埼玉医科大学リハビリテーション医学講座 教授 日本温泉気候物理医学会 副理事長 倉林 均 先生

主催 葛飾区医師会 (Tel 3691-8536) 後援 葛飾区

**～「お口のケア」から始まる健康づくり～**

葛飾区歯科医師会は、区民皆様の健康維持・増進のため、葛飾区との協力でいろいろな事業を通じてお口の健康維持に努めております。ムシ歯や歯周病は、健診による初期段階でのチェックが大切です。一生自分の歯で食べるために、かかりつけ歯科医を持って定期的に歯科健診を受けましょう。

**葛飾区成人歯科健診**

\*実施期間 平成25年9月2日～平成25年11月30日  
 \*対象者 葛飾区在住の健診実施年度中に40・45・50・55・60・65・70歳になる方  
 \*実施場所 区内の協力歯科医院  
 \*健診内容 歯、歯肉、口腔粘膜、顎関節の診査 \*健診費用 無料

詳しくはホームページをご覧ください。

**葛飾区歯科医師会** 東京都葛飾区青戸7-1-20 TEL 3602-0648  
<http://www.katsushika-da.com>